

フランス船社ポナンの探検クルーズ客船 「ル・ジャック・カルティエ」が大坂寄港

2025.4.26 池田良穂

本日早朝、フランスのポナン社の1万総トン級探検クルーズ客船「ル・ジャック・カルティエ」Le Jacques Cartier が大阪港に寄港しました。同船は、4月10日に唐津、宇和島、広島、高松に寄港してから大阪に到着してから、大阪発着のユニークな日本クルーズを数回行っています。鞆の浦、御手洗、下蒲刈などの瀬戸内海の小さな港町を訪問、その後も甕島、奄美大島、伊平屋島、宮古島、竹富島、与那国島などにも寄港しています。大阪港には4月中に2回目の寄港です。

なかなかユニークな外観のクルーズ客船で、同社が6隻の同型船の最終船で、ノルウェーのオーレスン造船所で建造されました。船名はフランスの探検家の名前をとっています。



大阪港の関門に迫る「ル・ジャック・カルティエ」。衛星通信用の丸いアンテナドームが印象的。



最近は、船内フロア面積確保のためのティッシュボックス型のクルーズ客船が多いですが、本船では上層にいくほど上部構造物の長さを縮めて、最上層は円弧状の構造物を乗せています。



2本並列の煙突、救助艇、交通艇の搭載場所もなかなかユニークです。



船尾には小型ボートへの乗船やマリナレジャー用のマリーナ施設が設けられています。